



2023年10月13日発行

第 122号

事務局 〒161-0033 東京都新宿区下落合
1-3-16ジョリーメゾンヌベル下落合205号
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
http://www.seishineisei.gr.jp/

〈目 次〉

第39回大会の魅力……………1
日本精神衛生学会第39回大会のご案内……………2
精神障害の労災認定の基準について……………5
高塚先生のご逝去について……………5
2023年度第1回理事会議事録概要……………6



第 39 回大会の魅力

日本精神衛生学会第 39 回大会 事務局長
高下 梓 (松本看護大学看護学部)

第 39 回大会の情報をご覧いただいた方は、「素敵なお大会になりそうだ！」とお感じくださっているのではないのでしょうか。開催まであと 2 か月弱となった東京大会 (Web 開催) の魅力をご紹介します。

① 「渾身のプログラム」

これは大会長の上別府圭子先生のお言葉で、素晴らしい登壇者をお迎えできることになりました。演題の詳細は、大会ホームページをご覧ください。オンデマンド配信がなく「どちらの会場に参加しよう」と迷うかもしれません。全国の皆様と Zoom で 2 日間つながり、充実した時間を共有できれば幸いです。

② 歴代大会初の事例研究

日本精神衛生学会では初めてとなる事例研究を開催いたします。本学会を創設された土居健郎先生が事例研究を大事にされていたことをふまえて、「ぜひ行いたい」という大会長の熱い思いから実現しました。大会初日の夕方から 2 時間かけて行います。事前予約制、先着 30 名です。

③ 話せる機会の充実—研究交流集会

Web での交流会で「初対面の人と何を話したら…」と思ったことはありませんか？第 39 回大会では、そうした心配はいりません！大会初日の感想や質疑応答で語りつくせなかったことを、同じテーマに関心のある方々とお話しいただき、「渾身のクイズ大会」にご参加いただき、ホッとして、あるいはスッキリして大会 1 日目を終えてお休みいただきたい、というものです。記念品もご期待ください。

いかがでしょうか？「これは参加しなくては！」とだけ思っていたら大変嬉しいです。

せっかくですから、参加登録は 11 月 11 日 (土) までにぜひ行ってください。大会抄録集と大会記念品をお送りいたします。大会関係者一同、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本精神衛生学会第39回大会のご案内

『家族と個人 一 가족が個人に求めるものと個人が家族に求めるものと一』

●会期 2023年12月2日(土)～3日(日)

●開催方法 オンライン

●大会ホームページ <https://seishin39th.jimdofree.com/>



●大会長 上別府 圭子 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科看護学分野)

●顧問 影山 隆之 (大分県立看護科学大学看護学部専門看護学講座)

●事務局長 高下 梓 (松本看護大学看護学部)

●大会プログラム タイムテーブル

大会1日目: 12月2日(土)

第1会場 (Zoom)	第2会場 (Zoom)
9:50~10:00 開会式	
10:00-10:50 会長講演 わたしたちのライフサイクルとケアの仕事、精神療法過程など 座長 上野 里絵 (東都大学ヒューマンケア学部看護学科) 演者 上別府 圭子 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科)	
11:00-11:50 教育講演① アルコール・薬物依存症からのリカバリー —当事者の語りから紐解く依存者のリアル 座長 長田 洋和 (帝京平成大学大学院臨床心理学研究科(専門職)) 演者 渡邊 洋次郎 (リカバリハウスいちご)	11:00-11:50 一般演題①
11:50-13:00 休憩	11:50-13:00 休憩
13:00-14:30 シンポジウム① 子どもと家族の安全・安心と成長 座長 中野 真也 (国際医療福祉大学心理学科) 演者 三木 馨 (西日本こども研修センターあかし) 児玉 久仁子 (家族看護実践センター/福島県立医科大学医学研究科博士課程) 三浦 雅子 (かながわ移行期医療支援センター・北里大学大学院医療系研究科)	13:00-14:30 理事長セミナー MCRTの先にある課題—支援者の支援と学会の役割 司会 影山 隆之 (日本精神衛生学会理事長) 話題提供者 影山 隆之 (日本精神衛生学会理事長) 後藤 成人 (大分県立看護科学大学) 瀬戸屋 希 (聖路加国際大学大学院) 指定討論者 小泉 典章 (長野大学)
14:40-15:30 委員会セミナー こころの不調を抱える親と子どもの成長 座長 加藤 純 (ルーテル学院大学総合人間学部人間福祉心理学科) 演者 上野 里絵 (東都大学ヒューマンケア学部看護学科) 北野 陽子 (ふるすあるは代表)	14:40-15:30 一般演題②
15:40-16:20 研究交流集会	
16:30-18:30 イブニングセミナー (事例研究A) ※事前申込制 講師 平島 奈津子 (国際医療福祉大学三田病院) コーディネーター 村山 志保 (国際医療福祉大学大学院)	16:30-18:30 イブニングセミナー (事例研究B) ※事前申込制 講師 中野 真也 (国際医療福祉大学心理学科) コーディネーター 村山 志保 (国際医療福祉大学大学院)

大会 2 日目 : 12 月 3 日 (日)

第 1 会場 (Zoom)	第 2 会場 (Zoom)	会場 (クロスウェーブ府中)
	9:00-10:00 教育講演② 労働者の睡眠と健康	
9:20-10:40 一般演題③	座長 真船 浩介 (産業医科大学 産業生態科学研究所) 演者 影山 隆之 (大分県立看護科学大学)	
	10:10-11:10 教育講演③ 労働者の健康問題と労災認定—精神障害を中心に	
	座長 中野 良吾 (創価大学教育学部) 演者 廣 尚典 (産業医科大学名誉教授)	
10:50-12:20 シンポジウム② 人生の最終段階をいかに生き、いかに死ぬか	11:20-12:20 教育講演④ 産業医のための職場復帰支援の在り方	
座長 平島 奈津子 (国際医療福祉大学三田病院) 元永拓郎 (帝京大学)	座長 廣 尚典 (産業医科大学名誉教授) 演者 大西 守 (公益社団法人 日本精神保健福祉連盟)	
演者 宮本 典子 (マエケンカウンセリングセンター) 吉野 淳一 (日本医療大学保健医療学部看護学科) 近藤 和子 (マザーリング & ライフマネージメント研究所代表)		
12:20-13:30 休憩	12:20-13:30 休憩	12:30-13:30 総会・土居記念賞授賞式 (学会事務局オンライン)
13:30-14:20 特別講演 思いやる心は傷つきやすい—ケアする者へのケアの必要性	13:30-16:00 一般演題④	
座長 上別府 圭子 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所) 演者 武井 麻子 (日本赤十字看護大学名誉教授)		
14:30-16:00 シンポジウム③ 今、支援者のメンタルヘルスを守るためにできること		
座長 三木 明子 (関西医科大学看護学部看護学研究所) 安保寛明 (山形県立保健医療大学)		
演者 中嶋 義文 (三井記念病院精神科) 蜂須賀 智子 (地方独立行政法人 東金・九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター)		
三木 明子 (関西医科大学看護学部・看護学研究所) コーディネーター 岡田 佳詠 (国際医療福祉大学成田看護学部)		
16:10-16:25 優秀演題表彰式 閉会式		

●研究交流集会のお知らせ

大会 1 日目 (12 月 2 日) の 15:40 から研究交流集会を行います。大会の感想や意見交換など、ざっくばらんに話したり、クイズ大会で楽しいひと時を過ごしたりしていただければ幸いです。なお、クイズ大会の全問正解者には豪華賞品をご用意しております。

●Web 大会参加費

会員 : 5,000 円 非会員 : 6,000 円 学部生・大学院生 : 2,000 円

Web 大会参加+認定産業研修医 : 6,000 円

※事例研究 (イブニングセミナー) へご参加の方は、別途 3,000 円をお支払いいただきます。

登録の期日は 2 種類あります。11 月 11 日までにお申し込みくださった方には、ご登録の住所宛に大会プログラム・抄録集と大会記念品をお送りします (発送時期 : 11 月下旬)。

抄録集・記念品の郵送あり : 2023 年 11 月 11 日 (土) 23:59 まで

抄録集・記念品の郵送なし : 2023 年 11 月 27 日 (月) 23:59 まで

●事前登録の方法

第39回大会への参加申込は、「第39回大会ホームページ」→「参加登録」のページよりお手続きください。ページ下部のボタンをクリックすると、「Payvent」のページに移ります。そちらからご登録ください。

●お問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは、「第39回大会ホームページ」→「お問い合わせ」よりご連絡ください。

●こんな人が準備をしています♪

石橋 紀子（まぎぬ児童家庭支援センター）

この度、大会準備スタッフのご縁をいただきました石橋と申します。

精神衛生学会は院生時代に初めて参加させていただいた学会で、新たな社会への一歩となった場でした。今回はスタッフとして、ご参加の皆さまにより良い時間を過ごしていただけるよう努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

平田 茜（明星大学ユニバーサルデザインセンター）

大会運営の手伝いをしております平田です。「右も左も分かりません」と顔に書いてあった大学院生時代、指導教員に「多職種が実践と研究をしているアットホームな学会だから胸を借りてきなさい」と言われ、日本精神衛生学会大会に参加したことを覚えています。皆様にプログラムが届けられるよう、配信担当として準備に努めたいと思います。

藤原 光太郎（福生市教育相談室）

第39回精神衛生学会の運営スタッフをしております藤原です。

第36回大会では、初めてとなるオンライン大会の運営スタッフもしていました。急遽シンポジウムの司会者になった時は、スタッフになったことを後悔もしましたが、良い経験でした。今回も、終わった後の達成感と最高の1杯のために頑張ります。



会員の皆さまにおかれましては、高塚雄介先生の訃報に接し、信じたくない気持ちや悲しい気持ちでいっぱいのことと存じます。私もまだまだ、教えていただかなくてはいけないことがたくさんありましたのに、突然のことで、びっくりしています。

先生は「大会、よろしくね」と、私に声をかけてくださり、この大会を楽しみにしてくださっていました。人々のこころの健康を深く追求し、議論をたいせつになさっていらした先生に倣い、大会では、皆で大いに議論しませんか。寂しいですけれども、大会運営委員一同、歩みを止めずに、大会の準備を進めて参る所存です。

謹んで、先生のご冥福をお祈り申し上げるとともに、多くの会員の皆さまの大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

第39回大会長 上別府圭子



高塚雄介先生のご逝去について

本学会元理事長の高塚雄介先生は2023年9月24日未明永眠なさいました。

高塚先生は本学会設立時からのコアメンバーであり、2000年から2011年までは本学会の理事長をお務めになりました。

人間の生き方と心の健康について大所高所から俯瞰し、心の健康に関する諸分野に対して指導的な役割を果たした先生には、多くの会員がお世話になりました。

先生の訃報に接し、心から哀悼の意を表するとともに、ご家族はじめお近くの皆様方にお慰めがありますようお願い申し上げます。

日本精神衛生学会理事長 影山隆之

精神障害の労災認定の基準について

厚生労働省の「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」の最終報告書が7月4日に公表されました。改正案のパブリックコメントが行われたあと、いずれ「精神障害の労災認定基準」が改正されて公表されることとされます。常任理事の丸山総一郎先生は、この検討会の委員として1年7か月にわたり14回の会議に参加なさいました(<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20230620002638.html> 写真一番右)。

なお、令和4年度「過労死等の労災補償状況」も6月30日(金)に公表されています。精神障害の労災認定では、上司のパワハラ関連が増えています。

一方、産業保健学会誌(フリーアクセス)の近刊には、丸山先生が関わったシンポジウム「職場における遺伝情報の取扱いと対応の実際～遺伝性腫瘍の仮想事例からの接近～」の諸講演が掲載されています。この他にも、メンタルヘルスと労災認定をめぐる動向、テレワークとメンタルヘルス、精神障害と雇用促進など、興味深い記事があります。

各資料は、以下のリンクからご覧になれます。丸山先生からの情報提供に感謝いたします。

○『精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会』最終報告書(2023年7月4日公表)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33933.html

○過労死等の労災補償状況(2023年6月30日公表)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33879.html

2023 年度第 1 回 理事会議事録概要

日 時 :2023 年 7 月 23 日(金)19:00~20:30

会 場 :Zoom にてオンライン開催

出 席 :(敬称略、順不同) 雨宮由紀枝 浮田徹嗣 大西守 大辻隆夫 荻田純久 影山隆之 加藤純
上別府圭子 菅野恵 黒岩誠 小泉典章 高下梓 瀧澤透 津川律子 中野明德 中野良吾 西村靖史
福島眞澄 廣尚典 元永拓郎 高塚雄介 丸山総一郎 馬淵麻由子 (事務局員:三浦)

欠 席 :22 名(委任状:8通)

1. 2022 年度事業報告(案)・2022 年度会計報告(暫定版)

- ・影山理事長より資料をもとに報告され、2022 年度事業報告(案)は承認された。
- ・馬淵事務局長から資料をもとに報告され、2022 年度会計報告(監査前暫定版)は承認された。

2. 2023 年度事業計画(案)・2023 年度予算案

- ・影山理事長より報告された。
- ・旧新理事会はオンライン開催とし、時期については検討中。
- ・研修会の予定、MCRT に関するセミナーについての詳細が報告された。
- ・2023 年度土居記念賞の選考委員長および選考委員について報告された。
- ・上記の報告および検討を含めて、2023 年度事業計画(案)は承認された。
- ・馬淵事務局長より予算案が報告された。会員の減少により会費収入の減収が見込まれることが報告された。2023 年度も常任理事会および理事会はオンラインでの開催とすることとし、委員会費は事務局員人件費のみとした。
- ・上記の報告を踏まえ予算案は承認された。

3. 2023 年役員選挙 理事定数について

- ・会員数減少のため地域別、分野別定数をそれぞれ 15 名程度とすることとし定数案(地区別 17、分野別 15)が提案された。両方に選出された場合は地域別が優先されること、選挙結果後、定数1に満たない場合は欠員もやむを得ないことが話し合われ、定数案は承認された。

4. 広報委員会の設置について

- ・影山理事長より、学会会員の増加や活動を広く広報するための広報委員会の設置が提案された。活動内容としてホームページの改訂や常任理事からのメッセージの配信などの案が示され、西村理事、高下理事が参加の意向を示された。広報委員会の設置は承認された。

5. 編集委員会からの報告

- ・酒井編集委員長からの資料をもとに学会誌の編集状況等が報告された。

6. 第 39 回大会について

- ・上別府圭子理事よりプログラム内容、参加申し込み状況、チラシの作成等について報告され、大会の広報についての協力依頼があった。

7. 第 40 回大会について

- ・中野良吾副理事長が大会長となり、創価大学(東京・八王子)を会場に 11 月~12 月に開催予定であることが報告された。